

読みたくなる議会だよりのために

<経過>

町民による議会活動評価アンケート(令和2年4月17日～4月30日、無作為抽出による町民700名、回答数195名、回答率27.85%)では、議会の情報は143人(複数回答あり)の方が議会だよりから得ており、議会だよりが毎月発行されていることも84%の方が知っている結果となった。一方、その他の設問の結果からは、内容まで十分に読んでいただけないという分析をした。

以上のことから、町民への効果的な情報提供手法・手段として、議会だよりは有効であり、より読みたくなる議会だよりにするための工夫、改善が必要との結論となった。

<目的> 「読みたくなる議会だよりにするため」

<達成するために取り組むこと>

(継続)

- ・月1回発行(すまいるとは別冊)
- ・年間ページ数、発行部数
- ・表紙の子どもの写真
- ・新たな委員会は設置しない

(改善策)

①議運メンバー以外の参画

なぜ必要か→議員視点での紙面

- ・編集後記への議運メンバー以外の参加

②委員会ページの充実

なぜ必要か→読んでもらうための内容の充実、議員視点での活動を町民に伝える

- ・事務局との連携
- ・話題、タイムリー性、議論の経過など

③紙面の工夫

- ・イラスト、図、グラフの有効活用
- ・QRコードの活用、わかりやすく目を引くタイトル、余白の活用
- ・議会用語解説の活用
- ・一般質問ページのスペース検討

④担当委員会期間の検討

- ・現行は6月～11月、12月～5月の半年ごと

→①6～8月、②9月～11月、①'12月～2月、②'3月～5月

の3か月ごとの交代制にしてはどうか。

⑤芽室町議会広報編集発行要領の見直し

- ・第5条2項、第6条2項に記載の「まめ通信」部分の削除

<将来的展望>

- ・カラー化(表紙のみ)
- ・名称(町民からの公募)
- ・特別委員会の設置